

世界遺産アカデミー認定講師 File No.22

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当て、お話を伺います。第22回は、2013年7月開催の「第13回世界遺産検定」で1級の最高得点を獲得され、現在は自治体主催の生涯学習講座や自己開拓の教養講座などをご担当されている森卓爾(もり・たくじ)さんです。

—Generalistな 認定講師として

約40年間勤めた商社を今から6年前に退職し、今後について考えた際、世界史や日本史、音楽、西洋美術、西洋建築が好きだった若い頃を思い出しました。芸術分野に惹かれるのは小・中学生時代にヴァイオリンや油絵などを習ったことが手伝っているのかも知れません。また、30代の約7年間、海外駐在員としてアルゼンチン共和国の首都ブエノスアイレスに滞在していたため、今でも英語圏よりもスペイン語圏の国々に親近感を覚えることは事実です。残りの人生、ど

んな活動に打ち込むべきか迷い、横浜や鎌倉などのご当地検定も考えましたが、ネットで世界遺産検定の存在を知り、その内容のグローバルさとアカデミックさにインスピレーションを感じ決心しました。2級から受検し、1級で最高得点を獲得したと通知をもらった時は全く予想もしておらず驚きました。その後、マイスターになればWHAの認定講師という主体的活動も可能と知り、不慣れな論文試験の準備を始め、本番ではうっかりミスもしましたが、幸運にも1回で合格できました。高度成長期に当たった僕らの学生時代には「Generalist」が求められ、以来それが良くも悪くも僕の基本姿勢と



ベルニーニ設計のサン・ピエトロ広場は完成に半世紀をかけた手の込んだもの

なったようです。その影響もあり、僕は「Generalistのマルチ講師」として、世界遺産の特定分野や特定地域に囚われず

全体をカバーしていく意識でガイダンスすることを、心がけています。家族と訪れた2012年のイタリア旅行は印象深いものでした。ミラノ、ヴェネツィア、ピサ、フィレンツェ、ローマ、ヴァチカン、ナポリ、を周遊する鉄板コースです。まだ2級を勉強中の時期でしたが、ヴァチカン・サンピエトロ寺院の宗教芸術の厚みやフィレンツェのルネサンス建築の知性美に心打たれました。世界遺産関連の情報には、敏感に反応します。先日もWHA研究員の皆さんや本村弁護士が出演していたNHK番組「趣味どきっ!」をクイズ感覚で楽しみましたし、TBS番組「THE 世界遺産」はメモを取りなが

ら視聴しています。又、少し脱線しますが、BS放送の特集番組では一昨年NHKで再放送された「世界遺産1万年の叙事詩」は世界遺産を通して世界史の大きな潮流や異文化の相克を現地取材と解説で見事に描き出した素晴らしいシリーズでした。こうして得た情報は、生涯学習講座や趣味の講座でも話題にできるので、ありがたいです。認定講師としては、月並みかもしれませんが、より多くの人々に世界遺産を知ってもらう機会を大事にし、特に世界遺産をバトンタッチして行くべき若い世代に感動を与えられるような講義をしていきたいと願っています。

—歴史の変遷を広げて くれる世界遺産

最近、『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』の世界遺産登録申請が取り下げになったとの報道には、驚きました。ICOMOSが指摘した“禁教下に絞り込むべき”というのは厳しすぎるかな、という感想を持ちます。現在の日本の暫定リストにある案件では、僕自身は仁徳天皇陵を含む『百舌鳥・古市古墳群』を推薦したいです。前方後円墳という独特な形、かつ木造建築主体の日本の文化遺産とは異なる大規模な石・土・水の構造物です。4～6世紀の古墳時代という時期

も、現在日本の世界遺産でもっとも古い、飛鳥時代(7世紀)の法隆寺に先行するものです。さらに、縄文時代の三内丸山遺跡などと共に歴史の変遷を広げてくれるかもしれません。

個人的に関心の高い地域は、シチリア島です。この小さな島の文化遺産には、紀元前約13世紀から17世紀まで、約3,000年もの歴史の変遷が詰まっています。『シラクサとパンタリカの岩壁墓地遺跡』は、紀元前13～前7世紀頃に興った地中海文明の跡と前8世紀以後のギリシア植民市の遺構であり、『アグリジェントの考古地区』は、紀元前5世紀

頃、カルタゴに破壊されるまでのギリシア神殿の荘重な遺構です。3番目は3世紀頃、古代ローマ時代に建設された別荘の『ヴィッラ・ロマーナ・デル・カサーレ』。床一杯にモザイク装飾で狩や女性などの世俗的な図柄が美しく描かれていて、列柱廊や床暖房も備わっている、優雅な建物跡です。東南部にある『ヴァル・ディ・ノートの後期バロック様式の町々』は、17世紀、地震で壊滅した8つの町を、後期バロック様式の建造物で統一的に再建したものです。南イタリアのシチリア島ひとつに約3000年もの歴史の変遷がぎゅっと詰め込まれ、しかもそこで

は、ラテン、イスラム、ビザンツ、ユダヤ、ノルマンなどの異なる人種・宗教・文化がお互いを認め、共存していた時代も長く続いていたのです。ワインやレモン、ぶどう、オリーブなど食文化も素晴らしく、シチリア・ファンが結構おられるようです。私も、次の旅行先として、ぜひ訪れたいと考えています。